

八千代オイコス 15周年記念特集号 かわら版 第33号



平成 29 年 2 月 15 日 発行
NPO 法人八千代オイコス
<http://www.yachiyo-oikos.jp/>



祝 NPO法人 八千代オイコス15周年記念会



オイコス15年の歴史を経て

皆様明けましておめでとうございます。

昨年15年の節目を経て、新しい年を迎えたオイコスの進化を目指してのスタートです。

12月の忙しい折、オイコス15周年記念会を多くの皆様に参加頂き盛大に開催することが出来ました。有難うございました。土曜日夕方の開催時間ながら、オイコスの会に出席頂きご挨拶そこそこの仕事へと会場を後にされた秋葉市長をはじめ日頃オイコスの活動にご協力いただいている八千代市環境政策室長や多くの友好団体関係者のご参加があり、楽しく賑やかに会が進められた事に、オイコス一同改めて感謝のお礼を申し上げます。

この節目を機にオイコスが15年の活動を続けて来たことの歴史を実績に、これから5年・10年の活動をどう維持し続けるかを真剣に考えることが、我々の今置かれて責任です。

オイコスの活動目標はなんであるか。原点に立って考えてみましょう。

第一に掲げている「環境保全活動」に立っての活動をどう持続してゆくのか。組織の老朽化（人的老朽化）による継続活動の困難性に手をこまねいていけば、やがてジリ貧に陥る事は明白でしょう。世の中老人社会化の大きな流れの中、どこの活動団体での共通問題とは言え、少しでも年齢の若返りを計り乍ら、組織の若返りを考えることが、今の我々の責任でしょう。



また10年も続けて来た「川の学校」も昨年は新しい試みとしての工夫を入れ、子ども達の興味の世界を広げました。絶えず内に、外に変化を求めてオイコスの次の時代に繋げて行きましょう！

平成29年1月 八千代オイコス代表 川瀬純一

平成 28 年 12 月 10 日 (土) 17 時～「八千代オイコス設立 15 周年記念パーティー」を緑が丘駅脇のイタリアレストラン「Passo Novita」で、総勢 60 名の参加者を賜り、ゲストの方も、スタッフも、子供達も、和気あいあいにて楽しく開催いたしました。

当日は「八千代オイコス 15 年の歩み」の DVD を上映した後、ゲストを代表として

- * 八千代市長 秋葉 就一様、
- * NPO 法人子どもネット八千代理事長 越後 久美子様、
- * 街づくり市民の会代表 太田 博様、 の 3 名の方からお祝いの言葉を賜り、
八千代オイコス生みの親である、

* 八千代オイコス 初代表 加藤 賢三様の乾杯の音頭でパーティーが始まりました。
八千代オイコススタッフ一同には今後活動するときに着用する「バンダナとベスト」が配られ披露されました。また、オイコススタッフによるミニコンサートもあり、

- * 「もりのうた合唱団 主力メンバーである 小原 翔、克子夫妻と宮竹 博之さんによる合唱と、
- * 瀬川 宣夫さんの ギター弾き語り、そしてスタッフ OB の
- * 有光 利文さんの独唱が有り、

夫々の出演者には満場拍手喝采でアンコールの掛け声も有りました。

参加者は 6 つの円テーブルに分かれて着席し、それぞれのテーブルでは会話が弾み、インタビューの声が聞き取れない程の盛況です。

インタビューでは、

- * 八千代市環境政策室室長 谷口 路代様、
- * 子どもネット八千代理事 (前理事長) 高田 悦子様、
- * ヤマトミクリ協議会会長 佐藤 孝之様、
- * 女性の日記から学ぶ会代表 島 利栄子様、 そして
- * 子供達にも感想を述べてもらいました。

パーティーの閉会は、設立時の一人である、小原 翔事務局長が閉会の辞を述べ、散会となりました。記念撮影では、参加者の方が入り乱れて楽しさが溢れるばかりの記念写真となりました。

今後 八千代オイコスが、20 年、25 年～末永く活動していく為にも、皆様のご支援を賜りたいと思いつつ、スタッフ一同 身体の続く限り頑張りたいと思います。

ご参加いただきました皆様 有難うございました。 (スタッフ 田邊)



司会 田邊



子どもネット八千代理事長
越後久美子様



八千代市長
秋葉就一様



街づくり市民の会代表
太田 博様



ゲストの皆様から心温まるお言葉を
いただき、ありがとうございました！



八千代オイコス 初代表
加藤 賢三様



子どもネット八千代前理事長
高田悦子様



女性の日記から学ぶ会代表
島 利栄子様

「エール」

子どもネット八千代理事（前理事長） 高田 悦子

八千代オイコスさんとの出会いは、八千代市で市民活動サポートセンターが立ち上がった頃までさかのぼります。運営スタッフや運営委員会のメンバーとして、また様々な市民活動のイベントなどで一緒することが多く、お互いの団体の活動内容やメンバーの方々の人柄を良く知るようになりました。特に、子どもたちに向けた「川の学校」という事業では、大勢の子どもたちと一緒に参加しながら、たくさんのことを学ばせていただきました。花輪川というのは小さな川ですが、実際に水の中に入って自然や生き物に触れながら、水質や生き物の生態系を調べる体験は、人が自分たちの生き方を見直すことに繋がるのだと感じました。失いつつある自然環境を保護し、その再生を願って行動する大人の姿を子どもたちに見せていくことも、教育なのだと思いました。地域に根差した地道な活動は、継続していくことが大事です。これからも、市民活動に携わる同志として、豊かで魅力的な街づくりを共に目指していきましょう。

「懐かしいオイコス活動の思い出」

八千代オイコス会員 OB 有光 利文

私がオイコスに入会したのは2003年1月です。女房が小原さんの奥さんから聞いて、「環境保全活動をしているボランティア団体に夫婦で参加しているのよ」。という話を聞き、退職後どう過ごそうかと思案中だった私にとって良い機会だと思いましたのが、入会のきっかけです。初めての会合で、加藤さんを始め、小原さん、島さん、金室さん、桑波田さんを紹介して戴いたのを今でも鮮明に憶えています。

最初の活動は、高秀牧場での竹の炭焼きです。竹切り、ドラム缶の炉の設置、薪の詰め込み、火入れ、温度調節、焼きあがった竹炭の取り出しなど、2日間の作業でした。

花輪川の作業は、遊歩道作り、護岸壁のペンキ塗りなどの作業で、近所の方から「犬の散歩道にはもってこいだ、足元が柔らかくて負担が掛からず、歩き易いね」と声を掛けられた時の喜びは今でも忘れられません。

ホテルの観察では、八千代市北東部を担当し、そこは自然環境が保たれ、数えきれないほどのホテルが棲息しており、今はどうなっているのか気に掛かる場所です。

私の活動期間は7年間と短かったのですが、大病を患い残念ですがリタイアしてしまいました。この度は15周年の記念パーティーにオイコスOBとしてお呼び戴き、川瀬代表を始め多くの会員の方がたにお逢い出来、お世話になった事に感謝し、今後の益々のご発展を祈念致します。



NPO 法人八千代オイコス ベストとバンダナ

オイコス15周年の記念品として、団体名入りベストとバンダナがあれば良いな・・・と定例会、15周年準備会などで話し合われてきました。

当初は、帽子？袖ありジャンパー？袖なしジャンパー？等等夢は大きく膨らみました。ですが、限られた予算内ですので、袖なしジャンパーと決め、デザイン、色、可能な限り価格が安いお店とネット、店舗などスタッフの藤田と桑波田が担当して、探しました。

「Since 2001 NPO 八千代オイコス」を濃紺色のベストにデザインして、赤いバンダナを購入し、15周年の日に会員にお渡ししました。「お手にとって、いかがですか？」

今後はオイコスの活動に、また市民活動での集まり等に着用して、八千代オイコスを知っていただけると嬉しいです。皆さま、アピールよろしくお願ひします。(桑波田)

餅つき会

餅つき会に参加して

小学6年 大橋 一毅



僕は、12月18日に八千代農業交流センターで、八千代オイコス餅つき会に参加しました。まずは、もち米を3台の蒸し器に掛けました。臼と杵を準備して、蒸したもち米を臼に移し、杵でしっかりとこねた後に、杵でつきました。杵は僕にとってはとても重く、狙い通り臼の真ん中には全然打てませんでした。色々な種類のお餅をつくってもらい、きなこ、のり、しょうゆ、納豆、あんこ、なつめ等をつきたてで食べました。中でもなつめの入ったお餅は生まれて初めて食べました。

お餅と一緒に作ってくれたとん汁を食べ身体が温まりました。お餅もとん汁もとても美味しかったです。

お米から自分が作って来たことを考えると頑張ったかいがあったなと思い、来年もお米を作って行きたいと思いました。

来年の餅つきでは、しっかりと杵を持ちうすのど真ん中を打りたいと思います。

来年の餅つき会が待ち待ち遠しいです。

オイコス恒例の「餅つき会」を12月18日(日)に、JA交流センターで開催致しました。穏やかな天気の下、コメ作りメンバー、スタッフ合わせて約50名が参加しました。

今年は20家族分ののし餅が必要で、人力による「杵と臼」だけでは間に合わず、助っ人に「モチッコ」を2台用意しました。もち米は80kg、燃料はプロパンガスボンベ2本、もち米のふかしセイロ3セット、湯沸かし用釜など準備万端。もち米は前日にといでありましたので、一臼毎のお米を測って、セイロで蒸しました。のし餅の作る順番は、予めくじ引きで1番は誰のお餅で、杵でついたものとか、3番はモチッコでついたものとか、そんな事を楽しみながらの餅つき会で、併せてとん汁も作り寒い冬ではとっても美味しく一人で何杯も食べる人もいました。今年は特に若いお父さん達が頑張って「杵と臼」を担当してくれました。つき立てのお餅は各自あんこ、きなこ、のり、納豆などを選びワイワイ云い乍ら食べました。のし餅はつきあがった自分のものを平らにのして夫々お持ち帰りました。それにお供え用の丸餅も付いていました。

毎年乍らの事ですが、JAセンターのご協力を戴き、感謝の気持ちで一杯です。またスタッフの周到的な準備、参加していただいたコメ作りメンバーの元気な姿などすべてが一体となって成功裏に終わることが出来たことに感謝感謝です。今年も美味しいお餅を戴き、最後に川瀬代表の音頭で、来年も健康でオイコスの活動を誓い散会しました。
(スタッフ 田邊)

編集後記

15周年を迎えたオイコス。これからも子どもから大人まで様々な人や団体と関わりあってつながっていくことでしょう。花輪川にいつまでもたくさんの笑い声や歓声が響き渡っていることを願ってやみません。

(TANA=J)



発行責任者：川瀬 純一

事務局&問合せ：小原 翔

☎：047-450-4663

mail：info@yachiyo-oikos.jp

八千代オイコス 15年の歩み・抜粋

平成12年(2000)	設立準備会(12月)
平成13年(2001)	発起人総会(4月)
	ホテルを探す会開始(石神谷津 8月)
	設立総会(9月)
	NPO 八千代オイコス登録認可(12月) 初代代表 加藤賢三氏
平成14年(2002)	インターネット付箋紙実験(NTTデータと共同 3月~8月)
	グランドワークによる「街づくりフォーラム」開催(3月) 市民活動16が団体参加
	第2回社員総会(4月)
	八千代市の助成金を受けて「ゴミマップ」を作成(11月)
	ホテル調査、観察会を開始(8月)
	花輪川の水質調査、花壇、苗植え等の美化運動開始
	高秀牧場隣接地で竹炭焼きを開始、(竹炭は花輪川の水質浄化に利用)
	「花輪川フェスティバル IN 高秀牧場」を近隣住民とのコミュニティを目的にイベントを開始(11月)
	市民活動サポートセンター設立準備委員会、運営委員会にスタッフを派遣(12月)
	村上東小学校に学習支援講師派遣(11月)
平成15年(2003)	印旛沼環境基金活動報告会で1年間の活動実績報告開始(1月)
	「アダプト制度」導入(4月)
	実験水路で水質浄化実験(竹炭、木炭)及び水質分析調査及び「花輪川クリーン作戦」開始(5月)
	食育プロジェクト実行委員会にスタッフ派遣
	エコメッセに参加(11月)
平成16年(2004)	花輪川遊歩道に「紫陽花」100苗植える。(7月)
	河川協会から「花輪川の美化、環境保全活動」で表彰を受ける。(5月)
	サポートセンター祭りに参加開始(11月)
	八千代オイコスのパンフレット作成
平成17年(2005)	「川の学校開校」(7, 8月)
	大和田小、村上東中総合学習に講師派遣、(6月~12月)
	花輪川遊歩道に木製チップ、砂利を敷く、(12月)
	花輪川にハグロトンボ、ゲンゴロウ、ミズカマキリ棲みつく
平成18年(2006)	ホームページ広報活動開始
	みためし事業による花輪川ゴミ拾い(市役所職員、吉橋工業団地社員、オイコス会員)(2月)
	オイコス広報誌「かわら版」創刊号発行(6月)
	「印旛沼アップ2006事業」に採用される——花輪川のせせらぎ、魚の棲家づくり
	竹炭づくりを佐々木さん宅の常設窯に変更
	第2回「街づくりフォーラム」開催、市民活動22団体参加(11月)
	萱田地区の田んぼで米作りを始める
平成19年(2007)	「花輪川クリーン作戦」を「エコウオーキング」に名称変更して実施、(3月)
	花輪川フェスティバルに東京動物専門学校生徒が参加、(キリンキッズ)
	「餅つき大会」を実施(12月)
	花輪川の水草「ササバモ」が姿を消す

平成20年(2008)	<p>川瀬 純一氏 オイコス2代目代表に就任(4月)</p> <p>川の学校を2回実施、(一般小学生 8月、子どもネット八千代 7月)</p> <p>「印旛沼連係アダプトプログラム合意書」締結、(桑納川 睦橋～高橋間2月)</p> <p>アダプト制度内容が改訂し、ブロック。砕石、粗朶等、川の中での作業が可能になる</p> <p>JcomTV に、かわら版編集会議の様子等が放映される</p> <p>花輪川にヤナギモが繁茂し、モツゴ、トウヨシノボリが多く生息しているのが見られる</p>
平成21年(2009)	<p>八千代市市民活動1%支援制度に応募</p> <p>イオンの「黄色レシート」キャンペーンに参加</p> <p>畑の体験作業でサツマイモを収穫し、焼酎も作る</p> <p>田んぼを「神久保」に移り、もち米を作る</p> <p>「川の学校」応募者が100人を超え、抽選で69名にする、参加費 800円/人を徴収</p> <p>花輪川 スジエビが多く見られるが、モツゴガ減少</p>
平成22年(2010)	<p>「畑の学校」を開校(サツマイモ、ジャガイモ、落花生など)</p> <p>東日本大震災にオイコスとして自主募金活動を開始</p> <p>広報誌「かわら版」をオールカラー4に変更(第14号から)</p>
平成23年(2011)	<p>花輪川の自噴水の水量、水質測定開始(4か所 11月)</p> <p>「ヤマトミクリの里づくり協議会」に参画</p> <p>ホームページサーバをJCAFE からロリポックに変更(3月)</p>
平成24年(2012)	<p>花輪川の放射線量計、測定開始する、(花輪橋～中州～土橋周辺)</p> <p>「川の学校」開校中止、(河川内の露出土壌が放射線量値高い為)</p> <p>竹炭焼き終了(一定の成果を得た為)</p> <p>ホタル調査マップを8月に作成、(平成6年、16年、24年の推移と考察を検証)</p> <p>環境省より「水、土壤環境保全活動功労者」の表彰を受ける(12月)</p>
平成25年(2013)	<p>「川の学校再開」(川に入らず、1日目は印旛沼屋形船に乗船し水質調査と水面水産研究所見学、2日目は花輪川見学ラリー)</p> <p>花輪川の草木に陶板の名称板を取り付け</p> <p>オイコス会員で初めての合宿検討会を2月に白子にて行う(活動振り返り、将来の展望等、参加10名、)</p> <p>餅つき会を新設の「農業交流センター」で開催、(12月)</p> <p>東日本大震災募金(68,560円)を千葉県共同募金会に寄付、(12月)</p> <p>エコウオーキングの内容を検討(春一菜の花、秋一歴史散策を主体)</p>
平成26年(2014)	<p>印旛沼流域水循環保全化会議より「第3回印旛沼流域再生大賞」の表彰を受ける(10月)</p> <p>放射線量が全ての測定地点で基準値以下になる</p> <p>「川の学校」を川に入っての授業再開</p> <p>「畑の学校」休止(借用農地の事情により)</p>
平成27年(2015)	<p>川瀬代表が「印旛沼流域再生大賞」を受賞した記念講演を行う(2月)</p> <p>排水処理装置の勉強会として、吉橋工業団地内の(株)「味泉」工場見学を実施、(2月)</p> <p>ボーイスカウト八千代第2団が、オイコスの活動に参加開始(11月)</p>
平成28年(2016)	<p>オイコスの活動動画DVDが完成(5月)</p> <p>「川の学校」に環境水研究所が参加(7月)</p> <p>八千代市市民活動団体連合会設立に参加する(9月)</p> <p>「オイコス15周年記念パーティー」を開催(12月)</p>